

8月1日（木）～3日（土）の3日間、SSHコースの生徒37名は国内サイエンスツアーに臨みました。初めての宿泊を伴う研修ということで、一人一人が緊張と期待に胸を膨らませ参加しました。この行程を写真を交えて紹介します。

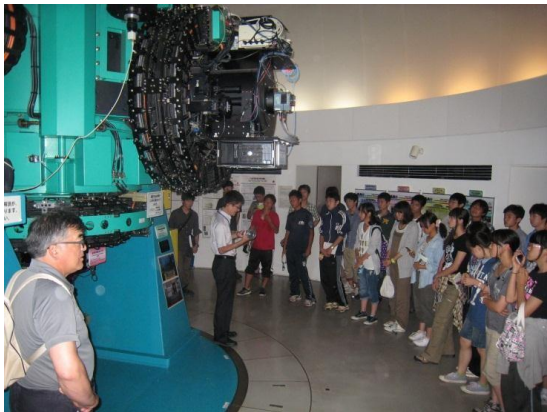
1日目、まず向かったのは神流町恐竜センターです。ここで、先生からワークシートを課され、館内をレポートしながら、見学しました。



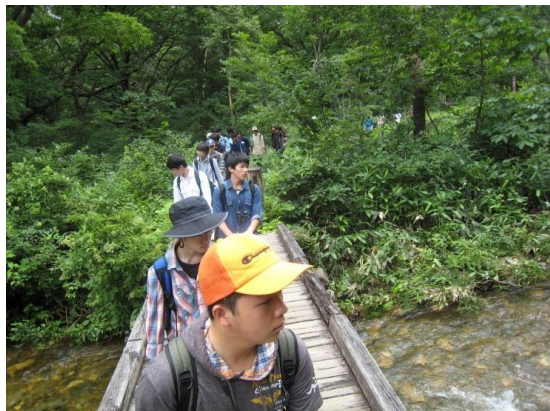
次に「化石発掘体験」です。各々にハンマーが手渡され、化石を発掘しました。恐竜センターの学芸員の方から説明をしていただいた後、いよいよ発掘。小さいけれど立派な貝化石が次々と生徒たちの手によって発掘されました。このあと、バスで県立ぐんま天文台へ向かいました。



ぐんま天文台の濱根先生から天体観測についての講義をいただいた後、夕食、そして待ちに待った天体観測となりました。しかし、あいにくの天候で大型望遠鏡による観測は出来ませんでしたが、60cm 反射望遠鏡ではくちょう座の「ふたご星」を観測できました。



2日目はいよいよこのツアーのメイン企画「尾瀬ヶ原の動植物観察・レポート」です。中型バス2台に分乗し、鳩待峠に。そして、尾瀬ヶ原へと向かいました。山の鼻ビジターセンターで昼食・休憩、いよいよ尾瀬ヶ原へ。初めて見るような動植物に興味津々。雨に降られたり、夏の日差しに照らされたり変わりやすい山の天気には振り回されました。







ホテルに帰って、夕食を済ませた後は、今日観察してきた尾瀬ヶ原の自然についての発表が待っています。各班ごとに撮影してきた写真をもとに5分間で発表しました。夜の11時を回る頃、各班の発表と先生方からの講評が終わり、長い1日が終わりました。



最終日を迎えたこのサイエンスツアーですが、天候にも恵まれ、沼田の河岸段丘見学と赤城火山のカルデラとカルデラ湖見学で終了となります。山頂での記念写真も撮影し、一路佐倉へと向かいました。生徒の皆さんお疲れ様でした。

